

兵庫県豊岡市但東町

# 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第19号（平成29年度）

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No. 19 (for the fiscal years of 2017)

# あ い さ つ

平成 29 年度は、開館して 21 年目を迎えました。この間、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などの常設展示、多彩な企画展の開催、楽しみながら異文化が学べる体験型の国内唯一の博物館としてモンゴルを紹介してまいりました。

昨年度に実施した開館 20 周年記念事業によりモンゴルとの交流の輪を広げ深めましたが、今年度はさらなる当館の存在や活動の周知に努めました。

今年度は、日本・モンゴル外交関係樹立 45 周年にあたり、当館が実施する主な事業は、この記念事業として認定を受け実施しました。

展示では、常設展示に加え、在大阪モンゴル国総領事館、横綱白鵬・日馬富士関など関係者の協力により、大相撲で活躍するモンゴル国出身力士展をはじめ 3 つの企画展を開催し好評を得ました。企画展開催にあたり、ご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。

国際交流では、3 年ぶりに第 12 回モンゴル国友好訪問使節団を派遣し、異文化を体験するとともに交流を深めました。また、在大阪モンゴル国総領事館訪問などを通して、情報交換・連携などを密にし、モンゴルの祭りなどにも出展して P R 活動・交流を行いました。

その他、小中高等学校の出前・受入授業や体験教室など、また晩秋に「しば・モンゴル宝まつり」を地域と共催、今春 3 月には「2018 まるごとモンゴル雛まつり」を開催し、多くの来場者で賑わいました。

終わりに、今後とも博物館の使命である文化振興はもとより、モンゴルの交流団体・政府機関や在日モンゴルの人々との連携を一層強め、交流の拡大・浸透を図り、また地域団体と協同した取組みを進め、地域や国際交流の拠点としての日本・モンゴル民族博物館を目指します。

平成 30 年 3 月 31 日

豊岡市立 日本・モンゴル民族博物館  
館 長 大 谷 均



第 12 回モンゴル国友好訪問使節団の中学生との交流

# 目 次

I. 平成 29 年度概要 . . . . .	1	6. 各種委員会委員等の受諾
		7. 博物館ネットワーク
		8. 博物館日誌抄
II. 展覧事業 . . . . .	2	9. お客様の声（抜粋）
1. 常設展		10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 の設置及び管理に関する条例
2. 企画展		11. 施設概要
		12. 交通案内
III. 資料収集保存事業 . . . . .	5	13. 利用案内
1. 寄贈		
2. 資料の貸出		
3. 資料の燻蒸		
IV. 普及教育事業 . . . . .	6	
1. 出前授業		
2. 来館受入授業		
3. 体験教室・講座の開催		
4. イベントの開催		
5. トライやる・ウィークの受入れ		
6. 情報の発信と公開		
7. その他		
V. 国際交流事業 . . . . .	10	
1. モンゴル国との国際交流		
2. 豊岡市モンゴル国友好訪問使節団の派遣		
VI. 管理運営 . . . . .	14	
1. 組織・職員		
2. 予算の概要（決算額）		
3. 利用状況		
4. 施設管理		
5. 博物館協力会		



# I. 平成 29 年度概要

今年度は、昨年度に実施した開館 20 周年記念事業により当館の存在と活動を広く周知したがさらに拡充を図るべく、魅力ある企画展示、積極的な情報発信や国際交流の推進などに努めた。

また、今年度は日本・モンゴル外交関係樹立 45 周年にあたり、当館が実施する事業は、在大阪モンゴル国総領事館の協力により記念事業の認定を受け実施した。

国際交流事業では、一昨年、昨年と連続して使節団を受入れたため、3 年ぶりに第 12 回モンゴル国友好訪問使節団（12 名）を派遣し、ホームステイ、ウランバートル市内中学校生徒との交流、ゲルの宿泊など異文化の体験や交流などにより国際理解を深めた。

また、在大阪モンゴル国総領事館訪問、日・モ外交関係樹立 45 周年記念懇親会出席などを通して、当館の活動や情報交換、協力・連携などを密にし、モンゴルの春・秋祭りなどにも出展して P R 活動・交流を行った。「しば・モンゴル宝まつり」には、在日モンゴルの人々を招き、地域との交流を推進した。

企画展示事業では、昨年度に引続き「村から町へ ～ 豊岡市域における『昭和の大合併』～」を、今年度は「学校の誕生」、「草原の国から来た力士たち」、「遊牧民の音楽一天に捧ぐ祈りと願い」の 3 つの企画展を開催した。

イベントでは、6 月に当館前広場にオープンガーデン・案山子をボランティアグループの協力により設置、11 月には「しば・モンゴル宝まつり」、年明け 1 月には「どんど焼き」などを地域づくり団体と実施し、今春 3 月には恒例となった「まるごとモンゴル雛まつり」を盛大に開催した。

通常の業務では、展示活動や資料収集・調査・施設管理を行い、小中高等学校の出前授業・来館受入授業やものづくり体験教室などの教育普及活動を実施した。

また、館所蔵品の台帳整備（デジタル化）は、絵画の写真撮影・採寸及び台帳データベース入力の作業を推し進めた。

入館者数については、チューリップまつり開催期間中に当館前で開催されたイベントや大相撲関連企画展などにより対前年度 3,452 人、35%の増となった。

厳しい財政事情の中で、より魅力ある企画展開催などによる入館者増が大きな課題である。

今後とも、当館の振興を図るために、戦略体系図の目的達成に向けた取組みの一層の推進が必要である。

## Ⅱ. 展覧事業

### 1. 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ①たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ⑤伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

#### (2) 常設展の更新

当館では、開館10周年に企画した特別展を契機に、常設展の展示替えを行い、より利用しやすいように工夫してきた。平成20年度からは、部分的な手直しにとどめており、平成29年度は次の部分について更新した。

- ①ホールに設置していた小型ゲルを撤去し、フタコブラクダ剥製2体を展示して、入館した時からモンゴルを体感できるようにした。
- ②シルクロード壁面の大相撲関取手形に換えてウランバートル市街の現況写真を展示し、近代化が進む首都の現状を紹介した。

#### (3) 屋外展示

- ①山羊小屋・・・屋外の小屋に山羊1頭を飼育し公開している。
- ②騎馬像（チンギス・ハーン）1体及び馬像2体
- ③ボランティアグループ「そよ風」の協力により、博物館前広場に平成24年度から毎年オープンガーデンを設置し、公開している。来館者からも好評で、今後も継続する予定である。

#### (4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心掛けている。

#### (5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活

空間の再現、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間に物づくり教室、イベント時には羊のマスコットづくりなどの体験を実施している。これら種目の充実化を図るとともに、新たな体験種目を検討する必要がある。

## 2. 企画展

- (1) 第71回企画展 村から町へ～豊岡市域における「昭和の大合併」～  
平成28年9月25日～平成29年5月30日 4月1日～54日間（見学者数 5,112人）通算212日間（見学者数 11,180人）

現豊岡市を構成する旧1市5町は、約60年前の昭和30年頃、全国各地の村や町が合併した「昭和の大合併」の時期に誕生した。旧市町の合併計画、合併に向けた話し合いの内容や動向など、新しい市や町が生まれていった過程を紹介した。



県下市町村の合併状況



現豊岡市域の合併状況

- (2) 第72回企画展 「“学校”の誕生」

平成29年6月4日～平成29年9月26日 99日間（見学者数 2,406人）

明治の始め、日本全国に開設された小学校。学校は地域の子どもたちがいっせいに学ぶ「国民教育」の場であった。その誕生から昭和戦後までの歩みを、市内の小学校で当時使われていた教科書や古い写真などで紹介しながら振り返る展示を行った。また、関連イベントとして「さわってみよう昔の教科書」、「モノ（教科書）とヒト（東井義雄）にみる学校教育の実践」を開催した。



教科書と当時の写真



ミニフォーラム

(3) 第73回企画展 「草原の国から来た力士たち」

平成29年10月1日～平成29年12月19日 69日間(見学者数 2,860人)

今年、日本・モンゴル外交関係樹立45周年を記念し、両国友好の象徴ともいべき横綱白鵬、日馬富士をはじめ照ノ富士、逸ノ城など大相撲で活躍するモンゴル国出身力士たちを紹介した。

白鵬の三揃化粧まわし・浴衣・等身大パネル、日馬富士が描いた絵画、逸ノ城の実業団時代の横綱や手形、相撲の歴史、錦絵などを展示した。

また、関連イベントとして、「はっけよい お相撲にチャレンジ!!」、「トントン紙相撲大会」を開催した。(協力: 在大阪モンゴル国総領事館、横綱白鵬、横綱日馬富士、鳥取城北高等学校、(公財)鳥取県体育協会、同協会長油野利博氏)



横綱白鵬の三揃い化粧廻し



横綱日馬富士の絵画



横綱白鵬の等身大パネル

(4) 第74回企画展 「遊牧民の音楽—天に捧ぐ祈りと願い—」

平成30年1月21日～平成30年5月22日(予定) 3月末現在 60日間  
(見学者数 2,493人)

モンゴルを代表する楽器馬頭琴をはじめ様々な楽器と、それらの楽器が奏でる遊牧民の音楽、そこに込められた想いなどを紹介している。

関連イベントとして、ギャラリートークや民族音楽コンサートを開催した。



横笛、口琴、イケルとその演奏の様子



馬頭琴とその演奏の様子

### Ⅲ. 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、寄贈を受けたモンゴル民族及び考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成している。

平成 26 年度より台帳電子化整備及び資料の確認・調査を進めてきたが、モンゴル関係収蔵品については、ほぼ完了した。今後は公開に向けた準備を進めていく必要がある。

#### 1. 寄 贈

##### (1) 寄贈資料（敬称略・順不同）

###### 【個人】

- ① D. サラントゥヤー（モンゴル国オブス県 2016 友好訪問使節団副団長）  
・デール 2 着、イケル 1 棹
- ② メデルト（中国内モンゴル自治区フフホト市）  
・馬頭琴 1 棹、馬頭琴部品 1 式

###### 【団体】

- ① 私立ナラン小中学校（モンゴル国ウランバートル市）  
・写真（ウランバートル市内現況） 1 点

#### 2. 資料の貸出

###### 【団体】

- ① 公益社団法人 姫路商工会議所  
テーブル 1 卓、椅子 2 脚、食品レプリカセット 1 式、ポット 1 瓶、糞入籠及び糞拾い各 1 ケ
- ② 丹後・但馬まちづくりチャレンジ  
ゲル 1 棟（屋外用）
- ③ 日高文化協会  
デール 3 着、帯 1 本、帽子 1 点、マネキン 1 体、フェルト鞆 1 点
- ④ 丹後・但馬まちづくりチャレンジ  
デール 6 着、帽子 6 点
- ⑤ 豊岡市民プラザ  
デール 4 着、帯 4 本、帽子 4 点、羊剥製 1 体、椅子 2 脚
- ⑥ 丹後・但馬まちづくりチャレンジ  
デール 3 着、帯 3 本
- ⑦ 北近畿まちづくり協議会  
駱駝剥製 2 体、デール 9 着、帯 9 本、帽子 6 点、テーブル 1 卓、椅子 2 脚

### 3. 資料の燻蒸

平成 29 年度は、害虫駆除センター・クリーン有限会社に委託して、全館を対象にピレスロイド系殺虫剤の空中散布、有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧をそれぞれ 2 回実施し、収蔵庫内には有機リン系殺虫剤の蒸散剤を 3 回設置して、殺虫・防虫処理を実施した。

## IV. 普及教育事業

### 1. 出前授業

各学校からの依頼に応じて、職員を授業に派遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授業では教員と協同し、持参した博物館資料を活用して、児童・生徒がモンゴルを理解しやすいよう工夫している。市教育委員会の方針に沿い、豊岡市内の小学校 25 校及び中学校 1 校を対象に出前授業を実施した。

#### (1) 小学校

日付	学校名	内容
①10月19日	豊岡市立新田小学校 2年生 31名	「スーホの白い馬」
②1月19日	豊岡市立田鶴野小学校 2年生 33名	「スーホの白い馬」
③1月22日	豊岡市立豊岡小学校 2年生 76名	「スーホの白い馬」
④1月23日	豊岡市立三江小学校 2年生 30名	「スーホの白い馬」
⑤1月25日	豊岡市立静修小学校 2年生 11名	「スーホの白い馬」
⑥1月29日	豊岡市立三方小学校 2年生 22名	「スーホの白い馬」
⑦1月30日	豊岡市立港西小学校 1,2年生 18名	「モンゴルの暮らしと文化」
⑧2月1日	豊岡市立中筋小学校 2年生 14名	「スーホの白い馬」
⑨2月2日	豊岡市立八条小学校 2年生 71名	「スーホの白い馬」
⑩2月5日	豊岡市立奈佐小学校 2年生 8名	「スーホの白い馬」
⑪2月6日	豊岡市立寺坂小学校 2年生 10名	「スーホの白い馬」
⑫2月13日	豊岡市立小坂小学校 2年生 16名	「スーホの白い馬」
⑬2月15日	豊岡市立港東小学校 2年生 12名	「スーホの白い馬」
⑭2月16日	豊岡市立福住小学校 2年生 22名	「スーホの白い馬」
⑮2月19日	豊岡市立小野小学校 2年生 12名	「スーホの白い馬」
⑯2月20日	豊岡市立日高小学校 2年生 77名	「スーホの白い馬」
⑰2月22日	豊岡市立府中小学校 2年生 29名	「スーホの白い馬」
⑱2月22日	豊岡市立合橋小学校 2年生 11名	「スーホの白い馬」
⑲2月23日	豊岡市立中竹野小学校 2年生 8名	「スーホの白い馬」
⑳2月26日	豊岡市立城崎小学校 2年生 38名	「スーホの白い馬」
㉑2月27日	豊岡市立高橋小学校 2年生 7名	「スーホの白い馬」
㉒3月2日	豊岡市立五荘小学校 2年生 140名	「スーホの白い馬」
㉓3月5日	豊岡市立竹野南小学校 2年生 5名	「スーホの白い馬」
㉔3月8日	豊岡市立神美小学校 2年生 27名	「スーホの白い馬」

⑫ 3月12日 豊岡市立清滝小学校 2年生 18名 「スーホの白い馬」  
計 25校 746名

(2) 中学校

⑬ 6月16日 豊岡市立日高西中学校 1年生 41名 「モンゴルの暮らしと文化」  
計 1校 41名

2. 来館受入授業

(1) 小学校

日付	学校名	内容
① 6月16日	豊岡市立資母小学校 6年生 8名	「企画展見学・校外学習」
② 9月15日	与謝野町立与謝小学校 2年生 23名	「スーホの白い馬」
③ 10月31日	豊岡市立資母小学校 1～6年生 67名	「企画展見学・校外学習」
④ 10月31日	豊岡市立資母認定こども園園児 21名	「園外見学」
⑤ 11月16日	朝来市立梁瀬小学校 2年生 51名	「スーホの白い馬」
⑥ 12月1日	朝来市立山口小学校 2年生 26名	「スーホの白い馬」
⑦ 1月30日	豊岡市立合橋小学校 3年生 9名	「郷土の暮らしと文化」
⑧ 2月15日	京丹後市立いさなご小学校 2年生 28名	「スーホの白い馬」
⑨ 2月16日	京丹後市立弥栄小学校 2年生 29名	「スーホの白い馬」
⑩ 2月20日	豊岡市立資母小学校 2年生 7名	「スーホの白い馬」
⑪ 2月22日	京丹後市立新山小学校 2年生 30名	「スーホの白い馬」
⑫ 同上	京丹後市立丹波小学校 2年生 4名	「スーホの白い馬」
⑬ 2月23日	京丹後市立長岡小学校 2年生計 14名	「スーホの白い馬」
⑭ 2月26日	京丹後市立島津小学校 2年生 11名	「スーホの白い馬」
⑮ 2月27日	京丹後市立大宮南小学校 2年生 21名	「スーホの白い馬」
⑯ 3月8日	京丹後市立甲山小学校 2年生 31名	「スーホの白い馬」
⑰ 3月16日	京丹後市立高龍小学校 2年生 30名	「スーホの白い馬」
⑱ 3月19日	京丹後市立網野北小学校 2年生 32名	「スーホの白い馬」
計 17校 421名 (市内4校91名 1園21名 (市内1園21名))		計 17校 421名 (市内4校91名 市外13校330名) 合計18校園442名

(2) 中学校

① 4月20日 (学法) 生野学園中学校 16名 見学・体験  
② 4月27日 県立やまびこの郷 8名 見学・体験  
計 2校 24名

(3) 高等学校

① 9月16日 大阪府立能勢高等学校 28名 見学・体験・セミナー  
計 1校 28名

(4) 大学

① 3月6日 近畿大学ゼミ 8名 見学・体験

計 1 校 8 名

### 3. 体験教室・講座の開催

#### (1) 常設教室

ペーパークラフト（ゲル） 4 名

#### (2) 体験教室

開催日	教室名	参加者数
① 6 月 3 日	モザイクで絵を描こう	42 名
② 7 月 27 日	手裏剣を作ってヒーローになろう	5 名
③ 7 月 30 日	やきもの	8 名
④ 8 月 8 日	モザイクで絵を描こう	14 名
⑤ 8 月 19 日	お絵かき風鈴づくり	18 名
⑥ 9 月 23 日	羊のマスコットづくり	9 名
⑦ 3 月 4 日	羊のマスコットづくり	107 名
計 7 教室		203 名

### 4. イベントの開催

#### (1) 丹但マルシェ 平成 29 年 4 月 18 日～30 日

たんたんマルシェ実行委員会により当館前広場において、たんとうチューリップまつり期間中「丹但マルシェ」イベントが開催され、連日、馬頭琴二重奏コンサートや露店の出店が催された。

当館は、会場エリア貸地、屋外ゲル組立てなどの協力を行った。

#### (2) しば・モンゴル宝まつり 平成 29 年 11 月 5 日（日）

資母地区地域づくり団体と当館前広場及び館内において共催した。幼児から高校生によるステージイベント、バザー、農産物販売、地域の方の作品展示、お楽しみ抽選会など多彩な催しがあり、天候にも恵まれ、多くの来場者で賑わった。

当館は、企画展「草原の国から来た力士たち」に関連した鳥取城北高等学校相撲部の協力による「はっけよい相撲チャレンジ！！」イベント、馬頭琴二重奏コンサートはじめフェルトの羊づくり・モンゴル文字書写体験、モンゴルの家庭料理・モンゴル物品・相撲関連物品の販売などを催した。

#### (3) 2018 まるごとモンゴル雛まつり 平成 30 年 3 月 4 日（日）

まるごとモンゴル雛まつりは第 7 回を迎え、馬頭琴・ドンブラミニコンサート、羊のマスコットづくり・馬頭琴演奏体験、モンゴルのお茶・菓子サービス、民族衣装試着、お菓子釣りなどを催し、多くの入館者で賑わった。

## 5. トライやる・ウィークの受入れ

(1) 中学生 5月30日(火) 午前中受入れ(2年生男子2名)

(2) 教師 資母小学校教諭1名

豊岡市立資母小学校教諭1名を3日間(8月24,28,29日)受入れ、山羊舎の掃除・給餌、屋外広場除草、収蔵庫整理及び常設展示一部模様替え作業などの体験を実施した。

## 6. 情報の発信と公開

博物館を有効に利用できるように、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは重要な活動のひとつである。最近ではインターネットによる情報発信を行っており、平成25年に開設したフェイスブックも重要な手段となっている。

博物館事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

### (1) 博物館の広報活動

①博物館事業案内などの主な定期発送先

市内各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、公設民営施設及び報道機関など。

②報道機関への情報・資料提供

③旅行会社への情報・資料提供

④ハワリンバヤル2017(春のモンゴル祭り)及び草原の風モンゴル祭り2017(秋の祭り)に出展し当館のPRを行った。

⑤どんど焼き(資母まちづくり協議会等主催)の協賛

### (2) インターネットによる情報提供

①電子メール

②ホームページ・フェイスブック

インターネットの普及・利用者の増加に対応し、博物館もホームページ及びフェイスブックを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

<https://www.facebook.com/monmuseum>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップの案内

ホームページ・フェイスブックの更新や追加は、催し物案内など定期的に

行うもののほか、最新の情報掲載を随時行っている。

## 7. その他

### (1) 文化財保護活動

特別天然記念物オオサンショウウオの発見情報を受けて、現地に赴き捕獲し、個体調査、マイクロチップ挿入有無を確認し、未挿入の個体には、チップを挿入して放流した。

① 7月 7日 出石川（但東町久畑 県道湯詰橋上流）チップ挿入

② 7月 28日 市道中山虫生線側溝（但東町中山 虫生境）チップ挿入

## V. 国際交流事業

### 1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、隔年で中学生主体の友好訪問使節団の受入れ・派遣、駐日モンゴル国政府機関等との情報交換や関係強化、豊岡市国際交流事業への協力、各種イベントの開催など、多くの方々との関わりのもと継続して行っている。

#### (1) 在大阪モンゴル国総領事館訪問

4月24日、総領事館を訪問して、A. テルゲルマー副領事、Ch. ソロンゴ三等書記官と面談し、「しば・モンゴル宝まつり」への総領事来臨等のお礼、開館20周年記念事業報告、ホストタウンボクシングチーム招致断念及びモンゴル国出身力士展・友好訪問使節団派遣など今年度事業計画を説明し、協力依頼及び情報交換等を行った。

#### (2) ハワリンバヤル2017（モンゴル春祭り）出展

5月3～4日、在日モンゴル留学生会主催のハワリンバヤル2017（モンゴル春祭り）が都立光が丘公園（東京都練馬区）で開催され、当館は出展し参加団体との情報交換や来場者にPRなどを行った。

会場で駐日モンゴル国大使などに面談し、当館20周年記念フォーラム来臨お礼、モンゴル国出身力士展等事業の説明及び情報交換などを行った。

また、この機会に横綱白鵬関を訪問し、本人にモンゴル国出身力士展への資料貸出等の協力を依頼した。

#### (3) モンゴル・日本外交関係樹立45周年記念懇親会

8月25日、在大阪モンゴル国総領事館主催の記念懇親会がホテル日航大阪（大阪府中央区西心斎橋）で開催され、国会議員、外務省出先機関、地方自治体首長、モンゴルと交流する団体などが出席した。当館も出席し、名刺・情報交換やPRなどを行った。

(4) 草原の風 2017 (モンゴル秋祭り) 出展

10月29日(日)、靛公園西園テニスセンターロビー(大阪市西区)

当館から出展し、在大阪モンゴル国総領事と面談、またパンフ・チラシ等の配布や参加団体との情報交換などを行った。

(5) 市民と在日モンゴル国人の交流促進

在日モンゴルの方々とは当館・地域との交流の輪を広げるため、しば・モンゴル宝まつり(11月5日開催)に関西在住のモンゴルの人達を招き、当館催しの企画・スタッフとして地域の方々とは交流していただいた。また、前日4日夕刻からモンゴル料理の調理や食事会により交流を深めた。

2. 豊岡市モンゴル国友好訪問使節団(市内中学生主体)の派遣

今年度は、市内中学生8名、引率3名、一般参加1名の計12名の友好訪問使節団を派遣した。ウランバートル市内でのホームステイ、観光ゲル宿泊、乗馬など大草原の国モンゴルを体験、また市内中学校や日本大使館を訪問するなど貴重な交流を経験した。9月4日夕刻から、団員が関係者や保護者等に体験や感想などを報告する帰国報告会を開催した。

(1) 使節団

団長	岸本 直幸(豊岡市但東振興局長)
団員	赤松 佑芙(豊岡市立豊岡南中学校2年生)
〃	朝倉 萌子(〃 日高東中学校1年生)
〃	太田 一颯(〃 日高東中学校3年生)
〃	田中天愛来(〃 豊岡南中学校2年生)
〃	谷垣 彩夏(〃 日高東中学校1年生)
〃	土野 栞摘(〃 出石中学校2年生)
〃	林 雄介(〃 日高東中学校3年生)
〃	廣瀬きらら(〃 出石中学校1年生)
一般参加	淀 逸郎(但東シルクロード観光協会会長)
事務局随員	成田 千晴(豊岡市地域コミュニティ振興部生涯学習課)
〃	道下 一(豊岡市立日本・モンゴル民族博物館)

(2) 日程

- 7月31日 伊丹空港経由し、成田国際空港から出国、チンギスハーン国際空港着モンゴル国入国、ウランバートル市内へ(フラワーホテル泊)
- 8月1日 日本大使館訪問、ウエルカムパーティ出席(ホストファミリー宅泊)
- 8月2日 ホストファミリーと市内観光などを通して終日交流(同宅泊)
- 8月3日 ホストファミリーと交流、ツォンジンボルド(チンギスハーン騎馬像)及び13世紀時代村など見学(ツーリストキャンプ泊)
- 8月4日 ゴルヒ・テレルジ国立公園見学、乗馬体験及びホステイ国立公園見

学など（ツーリストキャンプ泊）

8月5日 ガンダン・テグチレン寺院参拝、ザイサントルゴイ戦勝記念丘公園及びスフバートル広場など見学、ノミンデパート（旧国立デパート）で買物、国立民族音楽歌舞団劇場にて公演鑑賞（フラワーホテル泊）

8月6日 日本人死亡者慰霊碑公園礼拝、私立ナラン学校を訪問し交流（豊岡市議会議員有志一行も同席）、さよならパーティ開催（同ホテル泊）

8月7日 チンギスハーン国際空港から出国、成田国際空港に帰国、伊丹空港経由し、豊岡帰着

### (3) 使節団の様子



出国手続き



モンゴル国入国



駐モ日本大使館訪問



ウエルカムパーティ



ホストファミリーと交流



ホストファミリーと交流



ホストファミリーと交流



13世紀時代村



乗馬体験



ウランバートル市街地を望む



私立ナラン学校と交流



私立ナラン学校と交流



さよならパーティ



さよならパーティ



帰国の途へ



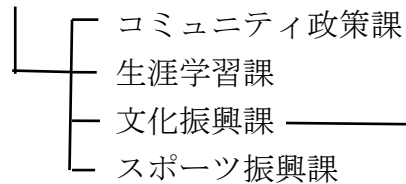
帰国報告会

## VI. 管理運営

### 1. 組織・職員（平成30年3月31日現在）

#### (1) 組織

豊岡市地域コミュニティ振興部



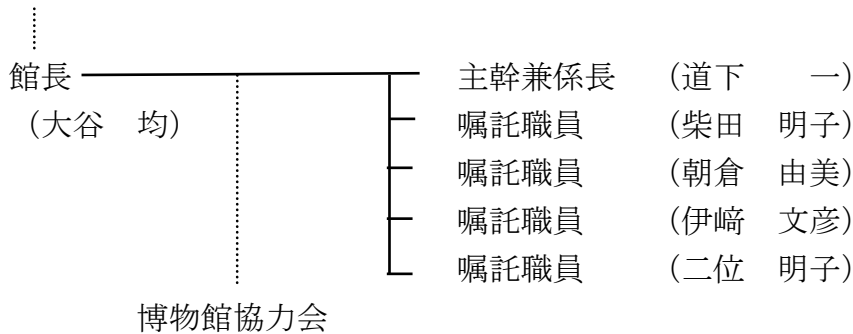
豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

豊岡市立美術館「伊藤清永記念館」

豊岡市立豊岡市民会館

豊岡市立出石文化会館（ひぼこホール）

顧問（福田芳郎）



#### (2) 職員

館長	大谷 均	（平成27年4月～ 嘱託職員）
係長	道下 一	（平成26年4月～）
嘱託職員	柴田 明子	（平成13年4月～）
嘱託職員	朝倉 由美	（平成25年4月～）
嘱託職員	伊崎 文彦	（平成27年4月～）
嘱託職員	二位 明子	（平成29年4月～）

#### (3) 事務分掌

- 大谷 均 管理運営に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関すること。
- 道下 一 管理運営に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整に関すること。予算編成及び歳入歳出に関すること。企画展示、ホームページ等の管理、館の庶務に関すること。
- 柴田 明子 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。職員の勤務管理に関すること。ミュージアムショップ及び館内外の管理に関すること。
- 朝倉 由美 常設展示・企画展示に関すること。収蔵品台帳に関すること。歳入歳出及び経理、受付及び案内、館内外の管理、館の庶務及び文書管理に関すること。
- 伊崎 文彦 常設展示・企画展示に関すること。歳入歳出及び経理、書籍管理、受付及び案内、ミュージアムショップに関すること。館の庶務に関すること。
- 二位 明子 歳入歳出及び経理、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、図書及び館内外の管理に関すること。常設展示・企画展示に関すること。博物館協力会に関すること。文書管理に関すること。

## 2. 予算の概要 (決算額) 単位:千円 (百円以下四捨五入)

〔人件費〕 22,935

- ① 報酬 10,089 (嘱託職員5名)
- ② 給与 4,339 (一般職員1名)
- ③ 職員手当等 5,170 (扶養手当96、通勤手当972、時間外勤務手当218、期末手当3,170、勤勉手当714、住居手当0、こども手当0)
- ④ 共済費 3,337

〔管理費〕 7,618

- ① 賃金 491
- ② 旅費 0 (普通旅費)
- ③ 需用費 4,352 (消耗品費194、燃料費107、印刷製本費48、光熱水費3,649、修繕料348、飼料費6)
- ④ 役務費 571 (通信運搬費238、手数料273、保険料等60)
- ⑤ 委託料 1,696 (電気保安点検178、自動ドア点検57、消防施設点検27、空調設備点検216、芝生管理100、清掃管理227、警備259、電気使用料監視52、資料燻蒸150、除雪430)
- ⑥ 使用料 498 (自動車借上料334、土地借上料22、機器借上料29、用品

借上料 79、テレビ視聴料 34)

⑦ 負担金 10

〔事業費〕 2,841

- ① 報償費 662 (報奨金 656、報償品 6)
- ② 旅 費 375 (普通旅費)
- ③ 需用費 1,179 (消耗品費 1,165、食料費 14、印刷製本費 0、修繕料 0)
- ④ 役務費 459 (通信運搬費 293、広告料 115、手数料 22、保険料 29)
- ⑤ 委託料 76 (しば・モンゴル宝まつり交流事業業務)
- ⑥ 使用料 90 (会場借上料 0、通行料 15、データ使用料 75)

※別途、モンゴル国友好訪問使節団派遣事業は、国際交流推進費に 3,759 千円支出済み。

### 3. 利用状況

当館は平成 8 年 11 月 3 日に開館し、利用者は平成 30 年 3 月末累計で、446,688 人となった。平成 29 年度は開館日数 308 日、入館者数 13,337 人であった。

利用者数は、前年度と比べ 35%の増加となった。今後とも、館活動の情報発信の強化やチューリップまつり等と誘客の連携を図るなど、入館者増に努めていく必要がある。

#### 【平成 25 年度(開館日:305 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	41	36	34	21	35	73	28	32	41	10	26	60	437
一 般	634	421	289	197	353	316	228	510	139	140	199	362	3,788
高、大	4	14	12	1	39	5	1	7	1	2	3	7	96
小、中	57	24	6	17	58	13	5	4	6	14	20	47	271
その他	728	508	488	406	622	347	512	432	221	468	748	585	6,065
計	1,464	1,003	829	642	1,107	754	774	985	408	634	996	1,061	10,657
1 日平均	54	39	32	25	40	29	30	38	20	28	42	39	35

#### 【平成 26 年度(開館日:308 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	49	50	20	12	27	39	26	16	8	10	18	61	336
一 般	620	288	313	246	394	216	332	534	124	89	177	332	3,665
高、大	13	11	1	2	15	3	15	7	1	4	19	8	99
小、中	58	24	7	10	51	13	4	18	4	5	25	44	263
その他	769	323	268	337	617	364	354	578	256	464	800	524	5,654
計	1,509	696	609	607	1,104	635	731	1,153	393	572	1,039	969	10,017
1 日平均	56	26	23	23	41	24	28	44	17	25	43	36	33

【平成 27 年度(開館日:313 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	29	42	47	42	16	41	60	37	19	27	7	43	410
一 般	549	274	155	135	258	244	220	350	173	145	203	373	3,079
高、大	1	12	7	6	62	17	16	53	36	2	6	13	231
小、中	47	19	3	9	34	15	8	11	6	5	23	47	227
その他	395	453	217	300	353	214	300	1,406	332	421	728	774	5,893
計	1,021	800	429	492	723	531	604	1,857	566	600	967	1,250	9,840
1 日平均	38	29	17	18	27	20	22	71	23	26	39	48	31

【平成 28 年度(開館日:314 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	27	34	43	35	28	34	29	12	13	8	19	81	363
一 般	447	188	144	333	420	241	258	258	155	89	133	413	3,079
高、大	109	16	5	9	30	23	23	8	10	1	2	10	246
小、中	19	17	5	44	34	5	4	5	2	3	25	63	226
その他	363	201	238	353	304	237	440	1,801	244	335	614	841	5,971
計	965	456	435	774	816	540	754	2,084	424	436	793	1,408	9,885
1 日平均	34	17	17	29	31	19	28	83	18	16	33	54	31

【平成 29 年度(開館日:308 日)】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
協力会地区	64	49	60	57	81	47	30	654	36	25	27	53	1,183
一 般	429	290	141	152	305	285	264	409	149	102	168	459	3,153
高、大	4	12	0	5	17	41	17	4	2	0	0	14	116
小、中	22	21	9	3	51	12	12	3	3	5	37	94	272
その他	3,860	361	339	255	395	305	335	701	318	356	673	715	8,613
計	4,379	733	549	472	849	690	658	1,771	508	488	905	1,335	13,337
1 日平均	156	28	21	17	33	27	24	71	22	21	38	49	43

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、豊岡市シルバー人材センターなどに委託し、本年度は4回実施（内1回はシルバー人材センターのボランティア活動）した。また、管理委託のみでは十分ではないため、歩行型エンジン式芝刈機により、当館職員が除草・清掃作業を行った。

また、博物館協力会や近隣地区の皆さんにも、広場除草やフラワーガーデン設置など屋外環境の向上に協力をいただいた。

## (2) 補修工事

10月22日に来襲した台風21号の暴風により、館前県道沿い案内広告板1枚が破損、及び来館者駐車場裏の樹木(ドイツトウヒ3本)が倒木したため、補正予算対応により、広告板修繕及び樹木8本の伐採・除去を行った。

## 5. 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事として連なる。加えて、但東地域選出市議会議員及び協力会元会長が顧問となる役員構成になっている。

平成29年の活動内容は以下のとおりである。

### (1) 役員

会 長 加藤 條一郎

理 事 12名 顧 問 4名

(任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

### (2) 活動内容

#### ①役員会の開催

平成29年5月18日に博物館主催による役員会を開催し、博物館の事業報告・事業計画などの説明及び活動・運営に対しての協力を依頼した。

#### ②各種事業への協力

企画展はじめ、まるごとモンゴル雛まつりなど当館事業のPR協力や参加をいただいた。

#### ③芝生広場除草などのボランティア作業

敷地内芝生広場の除草や、山羊の餌の提供などに協力いただいた。

## 6. 各種委員会委員などの受諾

平成29年度は、博物館職員が委嘱を受けている各種委員会、協会役員などはなし。

## 7. 博物館ネットワーク

### (1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成30年3月末で145館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・平成29年5月 兵庫県博物館協会総会
- ・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介
- ・ " " で展覧会案内情報更新
- ・子どもたちのミュージアムキャンペーンポスター作成

- ・協会ホームページの更新
- ・2018年度兵庫県博物館ガイドの作成、配布

## (2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成9年4月25日に設立され、平成30年3月末現在では19館が加盟している。

当館は平成9年4月に加盟し、その後、幹事館となり、平成18年6月から平成21年8月まで事務局担当、その後平成22年度まで監事を務めた。以後、平成31年度まで役員就任の予定はなし。

- ・平成29年7月6日 総会
- ・平成29年9月27日 先進地視察研修会（港都 KOBE 芸術祭）
- ・平成29年11月11～12日 但馬まるごと感動市に出展

## 8. 博物館日誌抄

平成29年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4月1日 第71回企画展「村から町へ～豊岡市域における『昭和の大合併』～」前年度から継続開催（～5/30）
- 4月3日 館内会議
- 4月10日 市立資母小学校入学式出席（道下）  
市立但東中学校入学式出席（道下）
- 4月17日 ホールのゲル（小型）解体撤去及びラクダ剥製設置
- 4月18日 2017たんとうチューリップまつり開園（4/18～30 期間中入館対応）  
たんたんマルシェオープン（当館前広場・駐車場）
- 4月21日 館前・東広場除草作業（大谷）  
館前チンギスハーン広場にゲル設置（マルシェ実行委5名、大谷、道下、柴田）
- 4月24日 在大阪モンゴル国総領事館訪問（岸本直、木下、大谷、道下）
- 4月28日 学校等&但東振興局連絡会（第1回 大谷）
- 5月1日 モンゴル国友好訪問使節団員（中学生）募集協力依頼（市内全中学校）
- 5月3～4日 2017ハワリンバヤル出展（東京都練馬区光が丘公園 大谷、道下、朝倉）
- 5月4日 横綱白鵬及びマネージャー面談（宮城野部屋 大谷、朝倉）
- 5月16日 館前広場ゲル解体撤去（実行委2名、大谷、柴田、二位）
- 5月18日 消防設備立入検査（豊岡市消防本部）  
博物館協力会役員会
- 5月21～22日 館前・横広場除草作業（大谷、柴田、二位）
- 5月23日 全館内燻蒸（業務委託）

- 5月29日 館北広場・赤坂古墳他除草作業（大谷）
- 5月30日 中学生トライやる受入れ（3名 午前中）  
県博物館協会&第1回研修会（県立歴史博物館 欠席）
- 5月31日 展示替作業（全職員）
- 6月3日 モザイクで絵を描こう体験教室（福住小学校2年学P42名）  
館前広場除草作業（大谷）
- 6月4日 第72回企画展「“学校”の誕生」開催（～9/26）
- 6月8日 館内会議
- 6月9日 館前芝生広場にオープンガーデン設営（～6/25 開園 そよ風）
- 6月11日 博物館協力会奉仕作業（広場・花壇除草 10名）
- 6月12日 館前駐車場ドイツトウヒ剪定作業（大谷、二位）
- 6月13日 モンゴル国友好訪問使節団中学生応募者面談（出石中、南中、日高東中）
- 6月21日 館内清掃（業務委託）
- 7月3日 館内会議
- 7月4日 モンゴル国友好訪問使節団第1回打合せ会（稽古堂 大谷、道下）
- 7月5日 学校等&但東振興局連絡会（第2回 大谷）
- 7月6日 但馬地域博物館連絡会総会（日高庁舎 伊崎）
- 7月7日 オオサンショウウオ捕獲調査放流（久畑 伊崎、朝倉）  
平成28年度決算審査（本庁舎 道下）
- 7月11日 モンゴル国友好訪問使節団第2回打合せ会（稽古堂 道下）
- 7月18日 モンゴル国出身力士展資料等貸出協力依頼訪問（鳥取城北高等学校、鳥取県体育協会、同協会長、県立図書館 大谷、朝倉）
- 7月25日 シルバー人材センター奉仕作業（除草 16名）
- 7月27日 手裏剣を作って忍者になろう教室（8名）  
モンゴル国友好訪問使節団第3回打合せ会（稽古堂 大谷、道下）
- 7月28日 オオサンショウウオ捕獲調査放流（赤野 大谷、朝倉）
- 7月30日 やきもの教室（11名）
- 7月31日 モンゴル国友好訪問使節団出発（～8/7 帰国）
- 8月3日 企画展関連「さわってみよう昔の教科書教室」開催（1名）  
豊岡市博物館及び美術館運営委員会（本庁舎 大谷）
- 8月5日 姫路ドリームフェスタ出展（伊崎、二位）
- 8月7～9日 モンゴル国出身力士展資料貸出等協力依頼訪問（東京 横綱白鵬及び日馬富士関 朝倉）
- 8月8日 モザイクで絵を描こう教室（14名）
- 8月13日 アンガラグスレン オドフー氏（京都大学大学院人間・環境研究科共生文明学専攻在籍 J. ミャンダス氏弟子）表敬来館
- 8月19日 風鈴に絵を描こう教室（14名）
- 8月24日 先生のトライやる受入れ（資母小学校教諭1名 8/28,29の3日間）

- 赤坂古墳除草作業（大谷、道下、伊崎、上野）
- 8月25日 日本・モンゴル外交関係樹立45周年記念懇親会出席（大阪 大谷）
- 8月26日 赤坂古墳取材来館（NHK テレビ日本人のおなまえ取材班）
- 8月28日 文化・芸術を活かしたまちづくり研究会見学来館（大阪府下17名）
- 8月31日 敷地広場除草作業（業者委託）
- 9月2日 企画展関連「ミニフォーラム「モノ（教科書）とヒト（東井義雄）にみる学校教育の実践」」開催（17名）
- 9月4日 モンゴル国友好訪問使節団帰国報告会（本庁舎 約40名）
- 9月15日 館内会議
- 9月16日 メデルト氏より馬頭琴1台及び同部材1式の寄贈を受ける
- 9月17日 しぼ・モンゴル宝まつり第1回実行委員会（資母地区コミセン）
- 9月19日 モンゴル国出身力士展資料等借受け（鳥取城北高等学校、鳥取県体育協会、同協会長 朝倉、伊崎）
- 9月21日 ホストタウン資料収集（会計検査院第5局特別検査課 大谷、道下）
- 9月23日 とよおかアート縁日2017出展（豊岡市民プラザ 柴田、伊崎）
- 9月27日 企画展示替作業（5名）、館内外清掃作業（業者委託）
- 10月1日 第73回企画展「草原の国から来た力士たち」開展（～12/19）
- 10月5日 同上に横綱白鵬の化粧まわし及び日馬富士の絵画他を展示追加  
産経新聞企画展取材来館（YAHOO ニュース記事掲載）
- 10月6日 神戸新聞企画展取材来館
- 10月9日 敷地広場除草作業（業者委託）
- 10月13日 NHK テレビ企画展取材来館（当日夜及び18日朝放送）
- 10月16日 神戸新聞企画展取材来館
- 10月17日 しぼ・モンゴル宝まつり第2回実行委員会（資母地区コミセン）
- 10月18日 NHK テレビ企画展放送（近畿地方）
- 10月22日 台風21号来襲のため、午後4時に閉館
- 10月23日 同上台風被害確認（ドイツトウヒ4本傾倒、看板破損2枚、雨漏り2箇所）
- 鳥取県体育協会油野会長来館企画展観覧
- モンゴル国野球U-15代表チーム来館見学（15名）
- 10月29日 草原の風モンゴル祭大阪2017出展（大阪市西区靱公園 道下、柴田）
- 10月30日 しぼ・モンゴル宝まつり第3回実行委員会（資母地区コミセン）
- 10月31日 館内会議
- 敷地広場除草作業（業者委託）
- 11月4日 関西文化の日（11/4～5）
- 在日モンゴルの方々（宝まつり参加）との交流会開催（体験交流室）
- 11月5日 しぼ・モンゴル宝まつりを地域と共催（「馬頭琴二重奏コンサート」、企画展関連「はっけよい相撲チャレンジ！！」（協力：鳥取城北高等学校相撲部8名）などを開催）

- 11月7日 安国寺どうだんつつじ一般公開（11/7～19）期間中入館対応
- 11月9日 学校等&但東振興局連絡会（第3回 大谷）  
神戸市シルバーカレッジ生来館見学（33名）
- 11月14日 市立博物館・美術館学芸員及び担当者会議（出石庁舎 伊崎）  
全館内燻蒸（業務委託）
- 11月17日 館長会議（出石庁舎 大谷）
- 11月20日 館内会議
- 11月21日 フジテレビ企画展取材来館（当日夕刻全国放送）
- 11月27日 横綱白鵬三つ揃い化粧まわし展示終了（福岡送致）
- 12月3日 毎日新聞企画展取材来館
- 12月7日 読売テレビ企画展取材来館（9日午後全国放送）
- 12月10日 企画展関連「トントン紙相撲大会」開催（19名）
- 12月23日 モンゴル国出身力士展資料返却（鳥取城北高等学校、鳥取県体育協会、同協会長 朝倉、伊崎）
- 12月26～27日 同上力士展資料返却（横綱日馬富士及び白鵬関 東京 朝倉）
- 12月27日 館内清掃（業者委託）
- 1月9日 館内会議
- 1月14日 しぼどんど焼き協賛（お菓子つかみとり）
- 1月15日 人感センサー装置設置（玄関、荷解室入口）
- 1月19～20日 企画展示替作業（3～2名）
- 1月21日 第74回企画展「モンゴル遊牧民の音楽 - 天に捧ぐ祈りと願い - 」開催（～5/22 予定）
- 1月31日 学校等&但東振興局連絡会（第4回 大谷）
- 2月2日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会（出石庁舎 道下）
- 2月19日 消防設備点検作業（業者委託）
- 2月20日 館内会議
- 3月4日 2018 まるごとモンゴル雛まつり（博物館内 495名）  
神戸新聞及び毎日新聞雛まつり取材来館
- 3月9日 市立但東中学校卒業式出席（道下）
- 3月10日 毎日新聞企画展取材来館
- 3月11日 朝日新聞企画展取材来館
- 3月22日 市立資母小学校卒業式出席（道下）
- 3月24日 檜の木（館東側3本）剪定作業（大谷）

#### 9. お客様の声（抜粋）

以下は、平成29年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め、今後の運営に生かしたいと考えている。

◎4月30日 兵庫県養父市（10歳未満 女性）

モンゴルの服を着られて楽しかったです。

- ◎5月11日 京都府福知山市 (40代 女性)  
歴史(チンギスハーン、フビライハーン)、スーホの白い馬や大相撲でしか知りませんでしたが、庶民の生活(ゲルの中、調理器具とか、衣装)を知ることができてとてもよかったです。相撲など結構身近な存在ですが、知らないことが多いので、色々な人が来てくれたらいいのにと思いました。
- ◎5月28日 京都府長岡京市 (40代 女性)  
先日、偶然に子どもに「スーホの白い馬」の絵本を買い、たまたまシルク温泉に来る途中で、こちらの看板が目に入り来館しました。会社の友人にモンゴル出身の人がいるので、とても興味があり楽しませていただきました。
- ◎6月7日 兵庫県神戸市 (10代 男性)  
モンゴルの歴史などがわかりました。また来ます。
- ◎7月13日 大阪府大阪市 (70代 男性)  
毎回、催しものを楽しみにしております。
- ◎7月3日 京都府宇治市 (60代 男性)  
大変失礼ながら、想像以上の内容でした。とても満足いたしました。スタッフの方もとても親切。また伺います。
- ◎8月13日 兵庫県姫路市 (40代 男性)  
思ったより内容があっってよかった。モンゴルに少し興味がわいた。いつまでも続いてほしい。
- ◎8月13日 兵庫県豊岡市 (10歳未満 女性)  
スーホの白い馬を勉強したときに、小学校に来てもらい教えてもらって、ここに来たいと思いました。
- ◎9月14日 兵庫県神戸市 (60代 男性)  
お世話になりました。6/29~7/14にかけて三垂からトルファンを旅行いたしました。その時、モンゴル族のゲルを見ることがありました。ウルムチ南公園内にもゲルが2棟ありました。ウルグイ族を見に行っただので、通り過ぎてしまいましたので、今復習で来ました。
- ◎10月28日 京都府城陽市 (60代 男性)  
現状のモンゴルやウランバートルほか地方の紹介があれば、よいと思います。
- ◎11月23日 兵庫県丹波市 (10代 男性)  
衣装が楽しい。
- ◎12月3日 兵庫県豊岡市 (10歳未満 女性)  
ちょっどこわかったけど、いろんなきかくがあっってよかった。また、すもうをモンゴルでもやってるなんて、はじめて知った。
- ◎2月4日 京都府福知山市 (40代 女性)  
子どもが学校で「スーホの白い馬」の勉強をしているので、来てみました。子どもも楽しめてとてもよかったです。ありがとうございました。

## 10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例

平成 17 年 4 月 1 日  
条例第 179 号

改正 平成 19 年 12 月 26 日 条例第 66 号  
平成 26 年 3 月 28 日 条例第 8 号  
平成 27 年 3 月 27 日 条例第 14 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1 点 1 回につき

2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長がその使用を不相当であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用

料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

- 2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

- 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則(平成19年12月26日条例第66号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成26年3月28日条例第8号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月27日条例第14号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

別表第1(第5条関係)

区 分	観覧料(1人1回につき)		備 考
	個 人	20名以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後5時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,500円	2,000円	
体験交流室	1,200円	1,600円	1,600円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		
備考	1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。 2 電気釜の使用料は、1回当たり1,000円とする。		

## 11. 施設概要

### (1) 本館建設概要

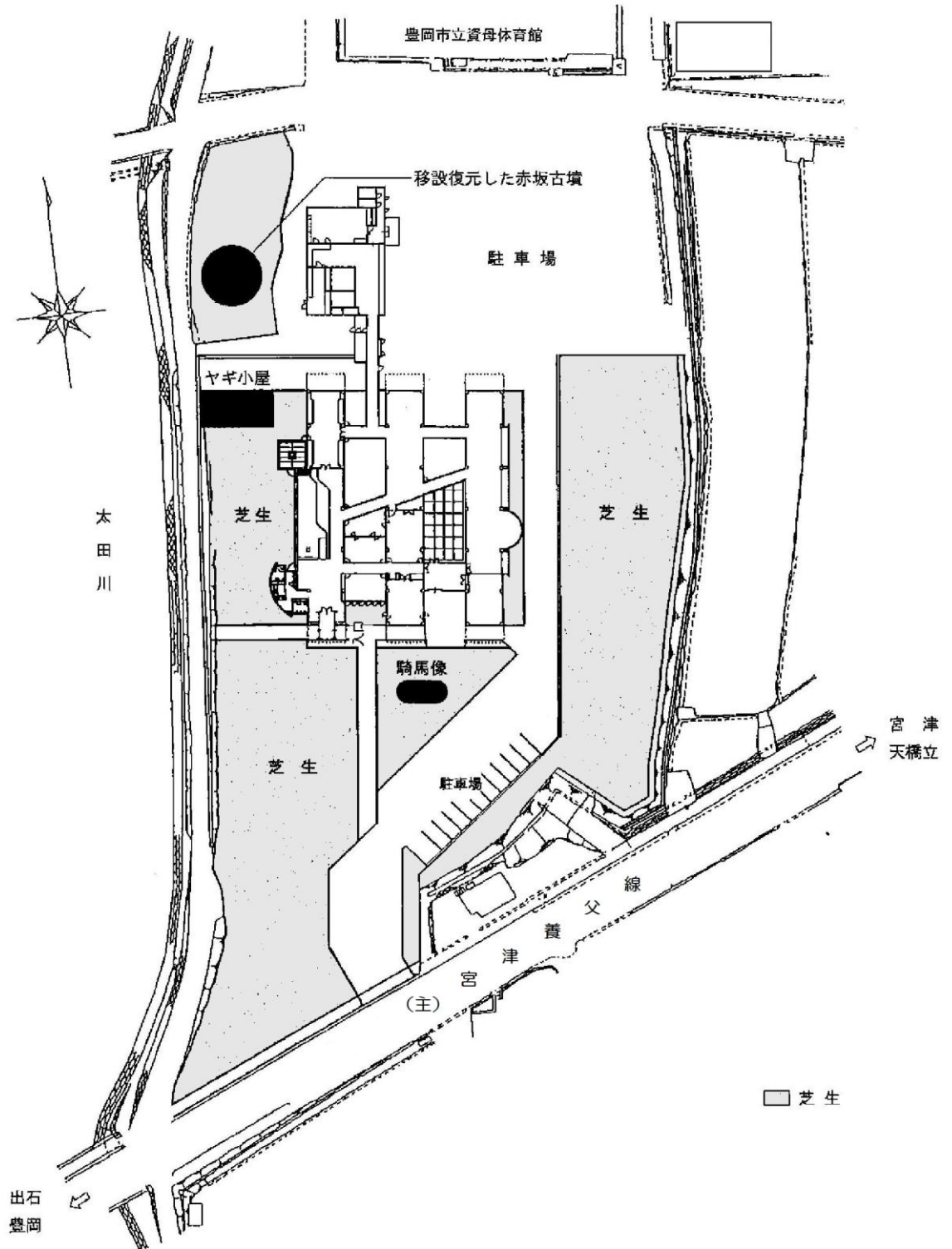
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84 m <sup>2</sup>
建築面積	999.65 m <sup>2</sup>
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6 m <sup>2</sup> 、 収蔵庫1 54.6 m <sup>2</sup> 、収蔵庫2 56.5 m <sup>2</sup> 、 荷解室 33.3 m <sup>2</sup> 、応接室 28.0 m <sup>2</sup> 、 事務室 33.3 m <sup>2</sup> 、資料整理室 48.2 m <sup>2</sup> 展示室「アジアの歴史」 75.7 m <sup>2</sup> 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8 m <sup>2</sup> 展示室「チベット仏教」37.7 m <sup>2</sup> 企画展示室 74.4 m <sup>2</sup> シルクロード(回廊)1 13.3 m <sup>2</sup> 、シルク ロード(回廊)2 13.3 m <sup>2</sup> 、シルクロード(回 廊)3 12.6 m <sup>2</sup> 、シルクロード(回廊)4 12.6 m <sup>2</sup>

建物規模	平屋建て 東西 41.8m 南北 42.5m 地上高 9.0 m
仕 上 げ	〈外装〉 複層吹付 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井: 杉小幅板、岩綿吸音板貼

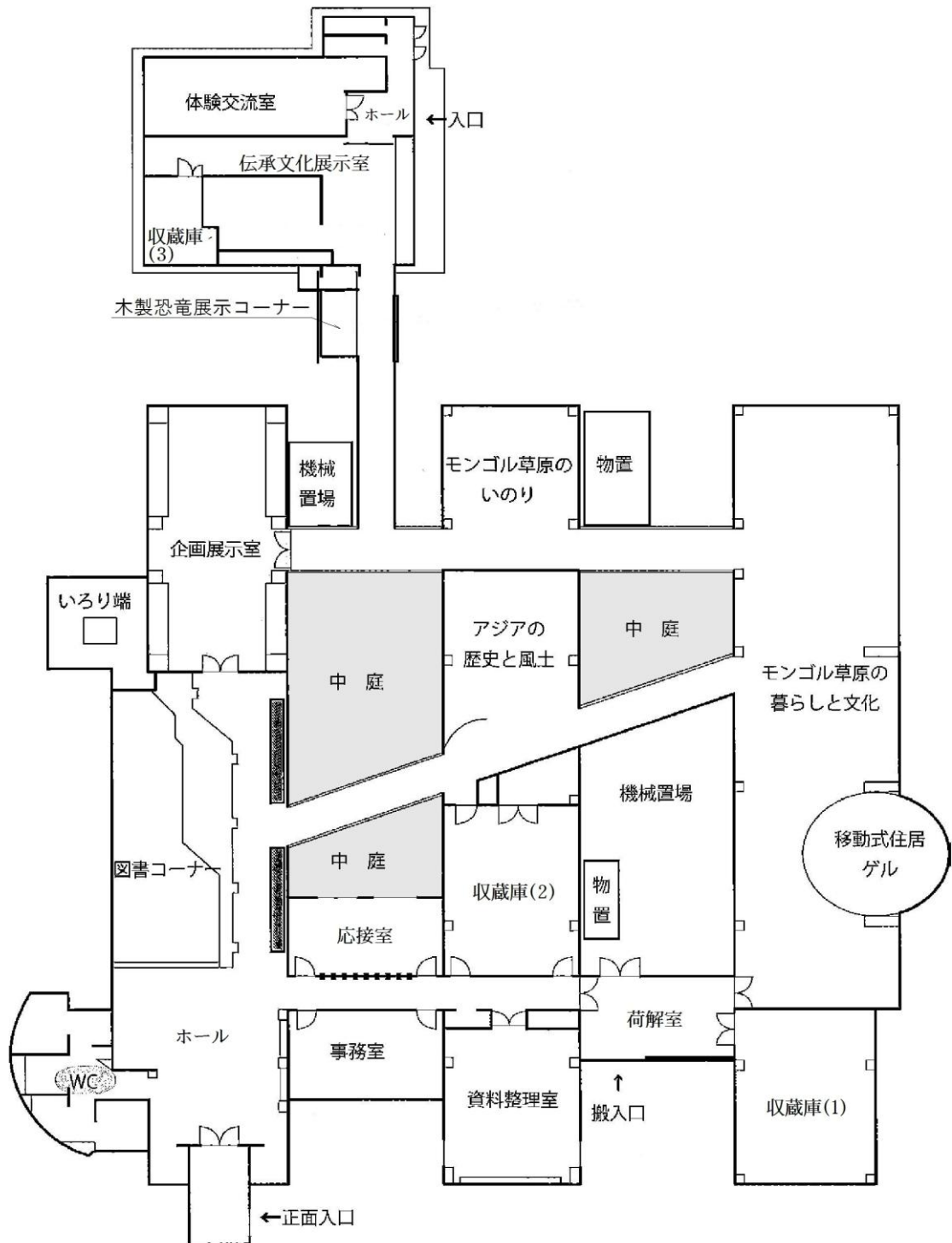
### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57 m <sup>2</sup>
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6 m <sup>2</sup> 、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」 112.5 m <sup>2</sup> 、 シルクロード(回廊)5 36.4 m <sup>2</sup> 、収蔵 庫 27.2 m <sup>2</sup>
建物規模	平屋建て 東西 12.8m 南北 21.2m 地上高 7.1 m
仕 上 げ	〈外装〉 押出形成セメント板 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井: 化粧PB張 一部杉板張

(3) 配置図



(4) 館内図



## 12. 交通案内



- JR で（山陰線）  
豊岡駅よりバスで約 60 分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で  
大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道  
福知山ICより約60分  
京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路  
与謝天橋立ICより30分  
姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山IC  
より約60分

## 13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時  
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
展示替えによる臨時休館
- 入館料 一 般 500円(450円)  
高校・大学生 300円(250円)  
小学・中学生 200円(150円)

※ ( ) 内は20名以上の団体の場合  
 ※障害者手帳をお持ちの方は各料金の半額  
 ※65歳以上の方は半額  
 ※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

**豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第19号**

**Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum**

**NO.19 (for the fiscal years of 2017)**

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)

**発行／豊岡市立日本・モンゴル民族博物館**

平成30年3月31日発行